

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
専門課程	美容本科		1 2 4 8 時間	1 6 0 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://k-bc.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://k-bc.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現 美容室経営	2020.5.1～ 2022.5.31	美容教育への適切な助言と学校運営への責任ある関与
非常勤	現 開業医	2020.5.1～ 2022.5.31	〃
非常勤	現 美容室 経営	2020.5.1～ 2022.5.31	〃
非常勤	前 北見美容専門学校 職員	2020.5.1～ 2022.5.31	〃
非常勤	前 美容室 経営	2020.5.1～ 2022.5.31	〃
非常勤	現 美容室 経営	2020.5.1～ 2022.5.31	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・教科科目、授業時数(単位時間)は美容師養成施設指定規則第3条一項ハにより本校学則第8条に規定され、「専修学校概要」(北海道私立専修学校各種学校連合会発行)に記載 ・成績評価の方法、基準は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。 ・授業計画は3月、翌年度の担当教員と週当たりカリキュラム、学期ごとの時間数を確認 ・1年次で教科書の履修を終える事を目標に、学期ごとの教科内容の配分は教員の判断に任せる。 ・2年次は単位時間が終了していても、資格試験の筆記試験に向かって1年次と同じく中間・期末試験を行い成績・順位をだす。	
授業計画書の公表方法	https://k-bc.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・成績評価の方法、基準 - 各科目で行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験 - その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。 (A—90点以上 B—70点以上 C—60点以上 D—59点以下 E—0点) ・試験ごとに成績を玄関ホールに公開する。 ・毎学期、保護者に郵送報告する。 - 筆記試験…中間・期末試験ごとに総合点により順位を発表。 - 実習試験…技術試験ごとに採点者3名以上の採点を平均して数値化、全員の試験結果一覧を発表。 ・時間単位制をとっているため、朝礼、昼休み終了時、終礼で出欠を確認している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。						
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)						
客観的な指標の算出方法						
必修科目の学期ごとの試験成績結果を合計し、順位を出す。						
学科名	美容本科		学年	2年生	学生数	13名
成績の分布						
指標の数値	540～ 599点	600～ 649点	650～ 699点	700～ 749点	750～ 799点	800点 以上
人数	5	4	2	1	0	1
下位1／4に該当する人数 5人 下位1／4に該当する指標の数値 599点以下						
・毎学期の中間・期末試験毎に、あるいは併せて、筆記試験・実技試験の合計点数の分布状況を50点きざみで集計しGPAを設定、成績の分布や過年度との比較をする。 ・評価は絶対数値、若しくはA～Cで表記し全体に対する成績位置を明記する。 ・試験ごとに成績を玄関ホールに公開する。 ・毎学期、保護者に郵送報告する。						
客観的な指標の算出方法の公表方法		https://k-bc.ac.jp/				
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。						
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)						
卒業の認定は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。 (成績評価と単位)						
・前課目60点以上の成績を修めているか ・学則8条に定める卒業に必要な単位時間数(2010時間)を履修しているか						
(卒業判定会議)						
・学校長以下全教員参加の卒業判定会議を年に一度、2月中旬に行う。 この時点で総履修単位時間が決まる。						
卒業の認定に関する方針の公表方法		https://k-bc.ac.jp/				

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://k-bc.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://k-bc.ac.jp/
財産目録	https://k-bc.ac.jp/
事業報告書	https://k-bc.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://k-bc.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容本科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間	650 単位時間	65 単位時間	1770 単位時間		104 単位時間
			2589 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		21人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画は3月、翌年度の担当教員と週当たりカリキュラム、学期ごとの時間数を確認 ・1年次で教科書の履修を終える事を目標に、学期ごとの教科内容の配分は教員の判断に任せる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各課目で行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験 その他提出物において100点満点60点以上、もしくはA～E段階のC段階以上で合格とする。 （A—90点以上 B—70点以上 C—60点以上 D—59点以下 E—0点）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・前課目60点以上の成績を修めているか。 ・学則8条に定まる卒業に必要な単位時間数(2010時間)を履修しているか。

学修支援等
(概要) 教科ごとにサブノートと問題集を製作、提出させて確認している。 資格筆記試験科目は単位終了後も毎週(2年生)演習時間を設けている。 技術練習は放課後、毎日、教職員が校内にいる時間は可能としている。 各学科・実技試験では認定基準に満たない場合「追試験」を受け、更に「補習」を受けさせる

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	1人 (7.7%)	12人 (92.3%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業(美容室、マツエクサロン、ネイルサロン)			
(就職指導内容) 1年生三学期就職ガイダンス 春休みに保護者アンケート 2年生4月三者面談 サロン説明会の開催			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師受験資格、着物着付師(初中伝・奥伝) 花嫁着付師、JNAネイリスト3級・2級、ジュニアアイデザイナー検定 アンリサンクメイクディプロマ、INAジェルネイリスト2級			
(備考)(任意記載事項) 就職先に多様化が進んでいる。同じ美容関係事業ではあるが、ヘアー技術を中心とした事業所だけではなくて来ている。まつ毛エクステ専門、プライダル中心、ネイルサロン等を真っ先に希望する学生が多くなっている。			

中途退学の現状		
平成31年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	8人	26.7%
(中途退学の主な理由) 人間関係 家庭の事情 転校		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により常に保護者と連絡を密にとっている。 特に遅刻欠席は必ず保護者からの連絡が前提である。 授業参観日を設け保護者と個人面談時間を確保する。 中退希望者には「休学」により「復学」の道を残して、年度末には連絡確認をする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容本科	70,000 円	630,000 円	360,000 円	研修旅行費、課外コース別途
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生・準特待生制度 遠距離進学応援制度 学費分納制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
地元の関係業界団体の代表 2 名に学校評価関係者評価委員を委任 学校長、教職員代表と年に 1 回以上教育活動と結果や自己評価について検証し、 今後の具体的取組みや継続的改善への提言と協力を期待する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北見美容協会会長	協会長 任期	地元の関係業界団体の代表
S P C グローバル北海道 旭川本部 本部長	本部長 任期	地元の関係業界団体の代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/ 2021 G U I D E B O O K (本校) 専修学校概要 (北海道各種学校専修学校連合会発行)
--

時 間 割 2020年度

	月	火	水	木	金	土
1	美容理論	衛生管理	美容実習	関係法規	美容実習	補講・補習日
2	美容実習	〃	〃	美容実習	〃	
3	〃	美容実習	香粧品化学	〃	〃	
4	〃	〃	文化論	〃	美容理論	
5	保健Ⅰ	保健Ⅱ	接客心理	美容理論	美容実習	
6	美容実習	美容実習	ヘアデザイン画	美容実習	〃	
7	〃	〃	〃	〃	〃	

授 業 時 間 表

朝 礼	8 : 5 0		
1	9 : 0 0	～	9 : 5 0
2	9 : 5 5	～	1 0 : 4 5
3	1 0 : 5 0	～	1 1 : 4 0
4	1 1 : 4 5	～	1 2 : 3 5
昼休み	1 2 : 3 5	～	1 3 : 1 5
5	1 3 : 1 5	～	1 4 : 0 5
6	1 4 : 1 0	～	1 5 : 0 0
7	1 5 : 0 5	～	1 5 : 5 5
放 課	1 6 : 0 0		
掃 除	1 6 : 0 0	～	1 6 : 1 5

2020年度

学校行事及び年間授業時数計画書

北見美容専門学校

日／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		備考
1	水	金 2年生休み	月	水 期末テスト	土	火	木	日	火	金 元旦	月	月	1	
2	木	土	火	木 "	日	水	金	月	水	土	火	火	2	
3	金	日 憲法記念日	水	金 "	月	木	土	火 文化の日	木	日	水	水	3	
4	土	月 みどりの日	木	土	火 美容実技試験	金	日	水	金	月	木	木	4	
5	日	火 こどもの日	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	5	
6	月	水 振替休日	土	月 "	木	日	火	金	日	水	土	土	6	
7	火	木 1年健康診断	日	火 "	金	月	水	土 リハーサル	月 期末テスト	木 2年始業式	日	日 美容筆記試験	7	
8	水 2年始業式	金	月	水	土	火 通信卒業式	木 教職員研修会	日 ページェント	火 "	金 成人のお祝い	月	月	8	
9	木 第55回入学式	土	火 通信17期	木	日	水	金 のため休校	月 振替休校	水 "	土	火	火	9	
10	金 オリエンテーション	日	水 "	金	月 山の日	木 カラー講習1年	土	火	木 "	日	水	水	10	
11	土	月 通信17期	木 カラー講習2年	土	火	金 " 2年	日	水	金 "	月 成人の日	木 建国記念日	木 第54回卒業式	11	
12	日	火 "	金 " 1年	日	水	土	月 中間テスト	木	土	火	金	金	12	
13	月	水 "	土	月	木	日	火 "	金	日	水 1年始業式	土	土	13	
14	火	木	日	火	金	月	水 "	土	月	木	日	日	14	
15	水	金	月	水	土	火	木 "	日	火	金	月 学年末テスト	月	15	
16	木	土	火 理事会	木 初・中伝査定	日	水	金 "	月	水	土	火 "	火 理事会	16	
17	金	日	水	金 終業式	月 始業式	木	土	火	木	日	水 "	水 終業式	17	
18	土	月	木 メイク講習1年	土	火	金	日	水	金 2年終業式	月	木 "	木	18	
19	日	火	金 " 2年	日	水	土	月	木	土	火	金 "	金	19	
20	月	水	土	月 通信17期	木	日	火	金	日	水	土	土 春分の日	20	
21	火 通信17期	木	日	火 "	金	月 敬老の日	水	土	月	木	日	日	21	
22	水 "	金	月	水 "	土	火 秋分の日	木	日	火	金	月	月	22	
23	木	土	火	木 海の日	日	水	金	月 勤労感謝の日	水 1年終業式	土	火 天皇誕生日	火	23	
24	金	日	水	金 スポーツの日	月	木	土	火	木	日	水	水	24	
25	土	月 中間テスト	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	25	
26	日	火 "	金	日	水	土	月	木 メイク講習1年	土	火	金	金	26	
27	月	水 "	土	月 "	木	日	火	金 " 2年	日	水	土	土	27	
28	火	木 "	日 サスーン	火 "	金	月	水	土	月	木	日	日	28	
29	水 昭和の日	金 "	月 振替休み	水 "	土	火	木	日	火	金	/	月	29	
30	木 2年生休み	土	火	木 "	日	水	金	月	水	土	/	火	30	
31	/	日	/	金 "	月	/	土	/	木	日	/	水	31	
日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	
休校	10日	5日	4日	12日	14日	4日	7日	4日	10日	11日	4日	13日	98日	
日・祭	5日	8日	4日	6日	6日	6日	5日	7日	4日	7日	6日	5日	69日	
授業日	13日	18日	22日	13日	11日	20日	19日	19日	17日	13日	18日	12日	195日	
行事日	2日											1日	3日	
時数	91時間	126時間	154時間	91時間	71時間	128時間	121時間	121時間	119時間	91時間	126時間	84時間		
合計数				462時間					560時間			301時間	1, 323時間	
備考		健康診断 5/7	1年参観日 6/11、12、15 2年参観日 6/17、18、19		美容実技試験 8/4	美容学科試験 9/6			美容着付師査定 12/5		美容実技試験 2/5	美容学科試験 3/7		

・実務経験のある教員の一覧

教科名	教 員 名	実 務 経 験 期 間
美容実習	金谷 一恵	美容室勤務 昭和 5 1 年 4 月～昭和 6 2 年 3 月
	佐藤 幸恵	美容室勤務 昭和 6 0 年 4 月～平成 1 2 年 3 月
	原 幹子	美容室勤務 昭和 6 2 年 4 月～平成 9 年 3 月
	守本 朝美	美容室勤務 昭和 5 2 年 4 月～昭和 6 0 年 3 月

	1 年		2 年		備考
一学期	279 時間	各技術試験	176 時間	各技術試験	
二学期	351 時間	各技術試験	120 時間	各技術試験	
三学期	210 時間	学年末試験	112 時間	模擬試験	
計	840 時間		408 時間		1248 時間

授業科目等 シラバス

(専門課程 美容本科) 令和2年度													
分 類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配 当 年 次	授 業 時 数	成 績 評 価	授業方法			教 員		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	専 任	兼 任	実 務 経 験 の 有
○			関係法規・ 制度	美容師法を中心に、美容業に係わる法令 や制度を学ぶ。資格の社会的責任を自覚 させ、行政処分、罰則について理解する。	1 ・ 2	34	中間・期 末	○				○	
○			衛生管理	公衆衛生・感染症の知識を学び見識を高 める。日常業務に必要な消毒の意義・目 的及び実際の消毒方法について覚えさ せる。	1 ・ 2	90	中間・期 末	○				○	
○			保 健	人体の構造・機能について学ぶ。皮膚と 毛髪などの付属器官の構造及び生理機能 は美容業務にとって不可欠と理解させ る。	1 ・ 2	95	中間・期 末	○			○	○	
○			香粧品化学	香粧品に使用される原料、使用目的を 知らしめる。その定義、法的根拠、安全 性を学び社会的な意義を理解させる。	1 ・ 2	64	中間・期 末	○				○	
○			文 化 論	理美容業の成立ち・歴史から今後の課題 まで考えさせる。各時代のファッション と理美容の関係を理解させる。	1 ・ 2	62	中間・期 末	○			○		
○			運営管理	美容業経営に経営戦略、資金管理、労務 管理等が必要であることを学ばせる。 経営における接客の意義を知らせる。	1 ・ 2	34	中間・期 末	○			○		
○			美容技術理論	美容業に認められている技術の基 礎理論(目的・方法・効果など)を実 習に即して学ばせる。	1 ・ 2	174	中間・期 末	○			○		
○			美容実習	美容師として必要な技術の基本動 作を身に付け、応用・展開まで理解 し完成出来るように訓練する。	1 ・ 2	1248	中間・期 末	○		○	○		有
合計				8 科目		1 8 0 1 単位時間(単位)							

授業科目等 シラバス

(専門課程 美容本科) 令和2年度													
分 類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教 員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
	○		接客心理学	社会人として、接客業として必要なマナーについて理解させる。敬語の使い方、お辞儀、身だしなみや冠婚葬祭について学ぶ。	1・2	69	中間・期末	○		○	○		有
	○		ビューティウェルネス	食と栄養…美と健康を目標に、どんな食生活が大切か理解させる。食事日記の提出、家庭・地域における伝統食を知る。体育…協動的にスポーツを楽しみ、生涯、体を動かかることを楽しむキッカケづくり。	1・2	34	レポート	○		○	○		
	○		ビューティカルチャア	英会話…接客に必要なフレーズと基礎的会話を身に付ける。 茶道…日本の伝統文化に触れ、他者への配慮など接客の根本であることを知る。	1・2	41	学習態度	○		○		○	有
	○		カラーコーディネート論	色彩学の基本を学ぶ。 パーソナルカラー(似合う色のグループ)を分析する方法。美容技術と関連性、重要性を学ぶ。	1・2	37	レポート	○	○		○		
	○		ヘアデザイン画	デッサン構成の原理を理解すると共に、デッサンの基本練習を通じ技術的向上を図る。コラージュ等の作品づくりをする。	1・2	46	作品提出		○			○	
	○		受験講座	学科…模擬試験と回答 実技…試験の流れ、禁止事項、必須事項等を総合的に反復、模擬試験	2	35	模擬試験	○		○	○		有
○			総合美容技術	美容実習で培った基礎力を活かし、さらに高度で複雑な技術と応用力、実践力を養う。各種技術コンテストへの準備。 資格試験課題を完成。	2	526	作品評価			○	○		有
合計					7 科目		7 8 8 単位時間(単位)						
総合計					1 5 科目		2 5 8 9 単位時間(単位)						

学校法人上村学園 理事及び監事名簿

(理 事)

令和2年5月

氏 名	職 業	学外者
守 本 朝 美	校 長	
上 村 重 貴	医 者	○
真野佐智子	美容業	○
長谷川孝義	美容業	○
酒 井 厚 子	美容師	○
寺 田 知 子	美容師	○
奥澤美喜子	美容業	○

(監 事)

氏 名	職 業	学外者
寺 田 力	無 職	○
今野敏明	美容業	○

成績の分布状況を表す資料

令和元年度

客観的な指標の算出方法						
必修科目の学期ごとの試験成績結果を合計し、順位を出す。						
学科名	美容本科		学年	2 年生	学生数	1 3 名
成績の分布						
指標の数値	540～ 599 点	600～ 649 点	650～ 699 点	700～ 749 点	750～ 799 点	800 点 以上
人 数	5	4	2	1	0	1
下位 1 / 4 に該当する人数			5 人			
下位 1 / 4 に該当する指標の数値			5 9 9 点以下			

専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程

(北見美容専門学校)

(成績評価)

第1条 各課目毎に行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験
その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階の
C段階以上で合格とする。

(A－90点以上 B－70点以上 C－60点以上 D－59点以下 E－0点)

第2条 前条に定める点数未満の場合は「追試験」を受けるものとする。
追試験の結果は100点満点中70点以上もしくはC段階以上であること。

第3条 追試験で、前条追試験の段階に達しない時は「補習」を受けるものとする。

第4条 評価は絶対数値もしくはA～Cで標記し、学年全体に対する成績位置を明記
する。

(卒業認定基準)

第5条 学則第8条に定める卒業に必要な単位(時間)数を履修し、本規程第1条に
定める成績を修めていること。

単位(時間)数不足する場合は、補講により補うこととする。

第6条 欠席時間数が、教科課目ごとに履修すべき時間数の3分の1(実習を伴う
教科課目にあっては5分の1)を超える場合は、卒業を認定しない。

(卒業判定会議)

第7条 卒業認定を行うため、卒業判定会議を年1回以上開催する。

第8条 卒業判定会議は、学校長、教頭等全教職員(2学年正副担任、1学年正副担
任)をもって構成する。

監 査 報 告 書

学校法人 上村学園

理事長 守 本 朝 美 殿

令和 2 年 6 月 1 0 日、当法人事務所において、令和 2 年
度決算報告書、及び事業報告書にもとづき監査を行いました。

その結果、いずれも適正に処理されていることを認め、ここ
に報告書を提出します。

令和 2 年 6 月 1 0 日

監 事

壽 田 力 

〃 今 野 敏 明 

財 産 目 録

令和 2年 3月31日現在

科 目				年度末
一 資産額				
(一) 基本財産				
1	土地			19,840,425
	校地	北見市花月町17番15号	825. 00㎡	
2	建物			
	校舎	所在 北見市花月町17番15号	510. 18㎡	33,485,570
	校舎別館	所在 北見市花月町17番15号	382. 22㎡	4,061,527
3	構築物	所在 北見市花月町17番15号	外構	1
4	教育研究用機器備品			222,303
5	その他の機器備品			129,049
6	図書			1,295,118
.				
(二) 運用財産				
1	預金・現金			
	現 金	現金手許有高		289,247
	普通預金			21,744,669
	定期預金			54,388,662
2	未収入金			190,349
3	前払金			399,590
4	出資金			10,000
.				
	合 計			136,056,510
二 負債額				
1	流動負債			
	(1) 未払金			1,147,142
	(2) 前受金			13,140,993
	(3) 預り金			5,094,594
	(4) 仮受金			110,000
.				
	合 計			19,492,729
差 引 純 資 産				116,563,781

事業活動収支計算書

平成 31年 4月 1日 から
令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

	科 目	予 算			決 算			差 異		
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(	27,722,000)	(	31,932,594)	(	△	4,210,594)		
	授業料		9,135,000		16,310,500		△	7,175,500		
	入学金		560,000		560,000			0		
	実験実習料		8,000,000		5,024,182			2,975,818		
	施設設備資金		2,200,000		2,200,000			0		
	その他の諸費用		7,827,000		7,837,912		△	10,912		
	手数料	(	200,600)	(	110,600)	(		90,000)		
	入学検定料		200,000		110,000			90,000		
	証明手数料		600		600			0		
	寄付金	(	240,000)	(	0)	(		240,000)		
	特別寄付金		240,000		0			240,000		
	経常費等補助金	(	2,641,000)	(	3,316,134)	(	△	675,134)		
	地方公共団体補助金		1,881,000		1,695,000			186,000		
	関係団体補助金		760,000		1,621,134		△	861,134		
	付随事業収入	(	2,220,000)	(	1,811,941)	(		408,059)		
	補助活動収入		720,000		588,495			131,505		
	附属事業収入		1,500,000		1,223,446			276,554		
	雑収入	(	190,000)	(	182,986)	(		7,014)		
	その他の雑収入		190,000		182,986			7,014		
	教育活動収入計		33,213,600		37,354,255		△	4,140,655		
事業活動支出の部	科 目		予 算		決 算		差 異			
	人件費	(	28,560,000)	(	35,498,054)	(	△	6,938,054)		
	教員人件費		23,900,000		23,904,829		△	4,829		
	職員人件費		4,660,000		3,737,325			922,675		
	退職金		0		7,855,900		△	7,855,900		
	教育研究経費	(	14,711,000)	(	11,130,461)	(		3,580,539)		
	光熱水費		1,520,000		1,252,805			267,195		
	旅費交通費		1,000,000		346,500			653,500		
	福利費		30,000		35,750		△	5,750		
	通信運搬費		0		400		△	400		
	印刷製本費		50,000		20,252			29,748		
	研究費		40,000		118,000		△	78,000		
	修繕費		200,000		6,820			193,180		
	損害保険料		40,000		27,440			12,560		
	諸会費		200,000		256,000		△	56,000		
	会議費		50,000		37,008			12,992		
	教材・教育費		7,000,000		4,786,986			2,213,014		
	教育センター納付金		450,000		320,386			129,614		
	行事費		350,000		183,251			166,749		
	雑費		80,000		38,335			41,665		
	減価償却額		3,701,000		3,700,528			472		
	管理経費	(	20,030,500)	(	16,202,623)	(		3,827,877)		
	消耗品費		700,000		589,542			110,458		
	光熱水費		10,000		83,851		△	73,851		
	旅費交通費		900,000		1,280,833		△	380,833		
	車両燃料費		220,000		111,886			108,114		
	福利費		10,000		7,460			2,540		
	通信運搬費		520,000		358,553			161,447		
	印刷製本費		410,000		249,913			160,087		
	修繕費		180,000		67,460			112,540		
	損害保険料		276,000		275,460			540		
	賃借料		702,000		730,181		△	28,181		
	公租公課		183,000		180,600			2,400		
	諸会費		140,000		118,150			21,850		
	会議費		71,000		92,107		△	21,107		
	報酬委託手数料		4,200,000		5,502,000		△	1,302,000		
	補助活動収入原価		6,500,000		4,069,448			2,430,552		

事業活動収支計算書

平成 31年 4月 1日 から
令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

教育活動収支	広報費	3,200,000	1,065,440	2,134,560
	渉外費	1,400,000	1,056,726	343,274
	雑費	400,000	316,187	83,813
	減価償却額	8,500	46,826	△ 38,326
	徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
	教育活動支出計	63,301,500	62,831,138	470,362
教育活動収支差額		△ 30,087,900	△ 25,476,883	△ 4,611,017
教育活動収入の部	事業活動収入の部	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金	(9,000)	(9,047)	(△ 47)
	その他の受取利息・配当金	9,000	9,047	△ 47
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
	教育活動外収入計	9,000	9,047	△ 47
	事業活動支出の部	予 算	決 算	差 異
	借入金等利息	(0)	(0)	(0)
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
特別収支	特別収入の部	予 算	決 算	差 異
	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別収入	(0)	(0)	(0)
	特別収入計	0	0	0
	特別支出の部	予 算	決 算	差 異
	資産処分差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
	特別支出計	0	0	0
特別収支差額		0	0	0
基本金組入前当年度収支差額		△ 30,078,900	△ 25,467,836	△ 4,611,064
基本金組入額合計		△ 0	△ 0	0
当年度収支差額		△ 30,078,900	△ 25,467,836	△ 4,611,064
前年度繰越収支差額		31,578,547	31,578,547	0
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		1,499,647	6,110,711	△ 4,611,064
(参考)				
事業活動収入計		33,222,600	37,363,302	△ 4,140,702
事業活動支出計		63,301,500	62,831,138	470,362

貸 借 対 照 表

令和 2年 3月 31日

(単位：円)

資産の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産		(59,043,993)	(62,623,947)	(△ 3,579,954)
有形固定資産		(59,033,993)	(62,613,947)	(△ 3,579,954)
土地		19,840,425	19,840,425	0
建物		37,547,097	41,172,409	△ 3,625,312
構築物		1	1	0
教育研究用機器備品		222,303	297,519	△ 75,216
管理用機器備品		129,049	8,475	120,574
図書		1,295,118	1,295,118	0
特定資産		(0)	(0)	(0)
その他の固定資産		(10,000)	(10,000)	(0)
出資金		10,000	10,000	0
流動資産		(77,013,517)	(100,258,553)	(△ 23,245,036)
現金預金		76,423,578	99,683,233	△ 23,259,655
未収入金		190,349	0	190,349
前払金		399,590	575,320	△ 175,730
資産の部合計		136,057,510	162,882,500	△ 26,824,990
負債の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債		(0)	(0)	(0)
流動負債		(19,492,729)	(20,849,883)	(△ 1,357,154)
未払金		1,147,142	1,661,473	△ 514,331
前受金		13,140,993	13,969,331	△ 828,338
預り金		5,094,594	5,119,079	△ 24,485
仮受金		110,000	100,000	10,000
負債の部合計		19,492,729	20,849,883	△ 1,357,154
純資産の部				
科	目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金		(125,311,161)	(125,311,161)	(0)
第 1 号基本金		125,311,161	125,311,161	0
繰越収支差額		△ 8,746,380	16,721,456	△ 25,467,836
翌年度繰越収支差額		△ 8,746,380	16,721,456	△ 25,467,836
純資産の部合計		116,564,781	142,032,617	△ 25,467,836
負債及び純資産の部合計		136,057,510	162,882,500	△ 26,824,990

貸借対照表
令和 2年 3月 31日

(単位：円)

重要な会計方針

(1) 引当金の計上基礎

退職給与引当金は計上しておりません。
徴収不能引当金は、未収入金の金額が少額であるため計上しておりません。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法	移動平均法に基づく原価法によっております。
棚卸資産の評価基準及び評価方法	最終仕入原価法に基づく原価法によっております。
ファイナンス・リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借り主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
預り金その他経過項目に係る表示方法	総額表示によっております。

重要な会計方針変更等 該当無し。

減価償却額の累計額の合計額 64,231,149円

翌会計年度以後の会計年度において基本金組入れを行うこととなる金額 0円

その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

所有権移転外ファイナンス・リース取引	リース資産の種類	その他の器械備品
	リース料総額	2,138,400円
	未経過リース料期末残	534,600円

令和元(2019)年度 事 業 報 告 書

学校法人 上村学園

- 平成31年 4月 5日 職員会議(毎月1回)
10日 始 業 式
11日 第54回 入 学 式
12日 オリエンテーション
16日 北見美容協会総会
18日 北海道理美容学校連盟総会
19日 山野流着装講習(初中伝の部)
21日 NP0 日本ネイリスト協会 ネイリスト3級検定(本校)
23日 進学相談会
25日 1年生 緑の羽根募金
27日 オープンキャンパス、仏教会お稚児さんメイク
- 令和元年 5月 7～9日 通信教育スクーリング(毎月2～3日)
8日 進学相談会
9日 1年生健康診断
勤労青少年講座着付(10回)
10日 2年生課外コース開始(ジェルネイル2級)
(13日ネイル2級、15日まつ毛エクステ、23日カットレベルⅡ)
11日 北見藤高校 職業説明会
14日 勤労青少年ホーム着付教室開始(10回)
17日 スポーツフェスティバル
23～24日 アリミノメイク講習、2年生参観日
25日 オープンキャンパス
27～31日 一学期中間試験
- 6月 4日 避難訓練
8日 オープンキャンパス
13～14日 カラーリング講習、1年生参観日
14日 北見女性センター着付講習開始(10回)
17日 1年生参観日
18日 理事会及び評議員会開催
22日 オープンキャンパス, プレスクール第1回
30日 サスーンカット予選(北見経済センター2F)
- 7月 1日 サスーンカットセミナー
2日 振替休校
6日 オープンキャンパス
4～9日 一学期期末試験
12日 山野流着装 初中伝査定
15日 全国理美容学生技術大会北海道予選(札幌)
16日 H O K K A I D O B E A U T Y F E S T A 見 学
(1, 2年生研修旅行) ※ 振替休日17, 18日
22～9日 通信教育スクーリング
25日 一学期終業式

- 27日 オープンキャンパス、プレスクール
- 8月 19日 二学期始業式
 23日 訓子府高校 出前授業
 28日 北見中央公民館 着付講習(10回)
 30日 1年生選択コース開始(13回) 山野流着装奥伝講習
 きものスタイリストコース、ヘアテクニカルコース
- 9月 9日 進学相談会
 10日 16期通信課程卒業式
 11日 高栄中学校 体験学習で来校
 12日 北光中学校 //
- 13日 東相内中学校 //
- 16日 SPC スタイリングコレクション 2019 北海道予選(札幌)
 17日 北見市立南中学校 体験学習で来校
 19～20日 カラーリング講習
 28日 オープンキャンパス、プレスクール
- 10月 1日 2020年度入学願書受付開始
 2日 研修会準備のため休校
 3～4日 北海道理容美容学校教職員研修会(北見)
 12日 BEAUTY PAJEANT 技術発表会リハーサル
 13日 BEAUTY PAJEANT 技術発表会(北見経済センター)
 15日 振替休日、進学相談会
 18日 美フェスタ(北見美容協会主催)に作品展示
 21～25日 二学期中間試験
- 11月 7日 進学相談会
 8日 訓子府高校1年生 上級学校見学会として来校
 12日 進学相談会
 全国芸術祭 留袖着付部門出場(1年生) 舞浜
 SPC スタイリングコレクション全国大会(1年生)新横浜
 19日 全国理美容学生技術大会(2年生)仙台
 23日 オープンキャンパス、プレスクール
 28～29日 アリミノメイク講習
 30日 山野流着装奥伝資格査定
- 12月 2～5日 二学期期末試験
 4～5日 午後 北見藤高校 浴衣着付
 5日 美幌高校出前授業
 6日 北見工業高校出前授業
 20日 二学期終業式
 21日 プレスクール

2020年 1月	8日	2年生三学期始業式	
	10日	成人のお祝い（黒部ホテル）いきいき、ゆうゆう訪問	
	14日	1年生三学期始業式	
	18日	プレスクール	
2月	7日	美容師国家試験実技（旭川）	
	17～20日	学年末末試験	
	20日	プレスクール	
3月	1日	美容師国家試験学科（札幌）	
	4～12日	新型コロナ感染症関連で休校（1年生）	
	9日	第53回卒業式	
	13日	三学期終業式	186日 1261時間
	17日	理事会・評議員会	
	18～27日	通信教育スクーリング	
	23日	プレスクール	

学校法人上村学園 北見美容専門学校
平成30年度 学校関係者評価委員会報告書

開催日時 平成30年12月14日（金） 17:00～19:00

会 場 遊牧民族 1F

出席者 評価委員 北見美容協会長 川本朝生
SPC GLOBAL 北海道 旭川支部長 櫻井香織
本校出席者 校長 守本朝美
教務 金谷一恵

実施方法 (1) 学校長挨拶
(2) 本校の概要を説明
(3) 自己点検・自己評価結果の報告
(4) 委員による評価結果の審議及び意見聴取

評価結果及び改善方策 自己点検・自己評価結果表に並べて掲載

自己点検評価項目の達成及び取組状況並びに学校関係者評価

(1) 教育理念・目標

適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4	・校訓は理念というより行動目標になっていないか。 ・地域の少子化から将来像を描くのは難しいが何とか学校は存続を。
学校の特色はなにか	4	
学校の将来構想を抱いているか	2	

(2) 学校運営

適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
運営方針は定められているか	3	・器に対して教員数が多いのは学生に対しては良いが、お互いに意志疎通が起きているのではないか。
事業計画は定められているか	4	
運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3	
人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2	・各教員が各々PCを前に教務処理を進めていて効率的。
意思決定システムは確立されているか	3	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	

(3) 教育活動

適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	・養成施設指定規則に沿って、必要以上の教員数を確保しており授業内容も誠実に行っている。 ・「技術」教育のレベルは高いが「技術」だけでなく「接客」をもっと意識して教えてほしい。 ・国家試験の合格率は素晴らしい。
各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達する可能なレベルとして、明確に定められているか	3	
カリキュラムは体系的に構成されているか	4	
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	
育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	
資格取得の指導体制はあるか	4	

(4) 教育成果 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	・現代の学生気質を思うと就職率、資格取得率の高さ、退学者の少なさは教員の叱咤激励、努力の結果と考える。 ・学生に対する学外者の評価を確認する。
資格取得率の向上が図られているか	4	
退学率の低減が図られているか	4	
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	

(5) 学生支援 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能されているか	4	・就職率の高さ、離職数から指導体制は有効に機能していると判断できる。 ・教育機能以外の面に、時間と人を割けないのはやむを得ないのかもしれない。 ・今後、卒業生の動向はしっかり把握して、業界で活躍してもらえよう支援してもらいたい。
学校相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	2	
学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能されているか	3	
課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2	
学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2	
保護者と適切に連携しているか	3	
卒業生への支援体制はあるか	3	

(6) 教育環境 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	・施設・設備は規則以上の整備がされていることは承知している。 ・今後、学外インターンシップを考えてはどうか。
学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2	
防災に対する体制は整備されているか	3	

(7) 学生の募集と受け入れ 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4	・募集活動に学外からの協力を得て遂行していることは評価。 ・他校と比べても高いことはない。逆に得られるものを考えれば、安いのでは。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	
学納金は妥当なものとなっているか	3	

(8) 財務

適切－4　ほぼ適切－3　やや不適切－2　不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	・ 先の見通しが立ち難いことは理解できる。その中毎年度の会計処理が適切である努力を今後もお願いしたい。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	
財務情報公開の体制整備はできているか	3	

(9) 法令等の遵守

適切－4　ほぼ適切－3　やや不適切－2　不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	・ 法的な側面は問題ないのは承知している。 ・ 自己点検、評価をもう少し客観的に考えてみてはどうか。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2	

(10) 社会貢献

適切－4　ほぼ適切－3　やや不適切－2　不適切－1

評 価 項 目	評 価	学校関係者評価
学校の教育資源や設備を活用した社会貢献を行っているか	3	・ 学校内外で、きもの着付指導や、アジア学生国際映画祭で協力していることは評価。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	